

11月25日(土) 午後1時開始

村松山虚空蔵堂

文化講演会

演題 『戦国期における佐竹氏の動向と真言宗の展開』

講師 宮内 教男 氏
元茨城県立歴史館副参事兼歴史資料課長

演題 『東国の戦国仏教＝安房国清澄寺の虚空蔵信仰＝』

講師 湯浅 治久 氏
専修大学文学部教授

中世をとおして、真言宗、天台宗(顕密仏教)は膨大な荘園を擁する宗教勢力として大きな力を持っていました。各地の荘園に置かれたお堂や鎮守によってその思想は全国に深く浸透していたのです。一方、鎌倉時代に興った新しい宗派(鎌倉新仏教)が、民衆に受容され地域に定着するのは室町から戦国時代のことであり、「戦国仏教」と呼ぶべきであると主張する研究者もいます。

戦乱と災害が断続的に続いた戦国時代に、民衆や領主はいかに仏教を受け入れたのでしょうか。「日本三休虚空蔵尊」である千光山清澄寺(千葉県)と村松山虚空蔵堂とを概観しながら、虚空蔵信仰の様相、仏教と戦国社会の関わり合いを2人の歴史研究者があぶり出します。

村松山虚空蔵堂文化講演会

申し込み方法

●日 時 / 平成 29 年 11 月 25 日 (土)

午後 1 時～午後 3 時 30 分

※ 昼 12 時 30 分より受付開始致します。

●申込期間 / 平成 29 年 11 月 22 日 (水) までに必着

●会 場 / 村松山虚空蔵堂信徒会館

●定 員 / 100 名 ※聴講無料

●参加方法 / はがき、FAX、またはメールアドレスにて、郵便番号・住所・氏名・電話番号・同伴者名・講演会参加希望と明記の上、下記宛までお送りください。

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松 8 村松山虚空蔵堂文化講演会 応募係

メールアドレス: bunkakouen@gmail.com FAX: 029-282-1816

●主 催 / 村松山虚空蔵堂 ●後 援 / 東海村教育委員会 / 東海村観光協会 / 茨城新聞社

<input type="checkbox"/> 319 1112 村松山虚空蔵堂 文化講演会 応募係	〒000-0000 〇〇県〇〇市△△町 000-000
	□□川 □□子 000-000-0000
	□□川 ◇◇美 △△山 ◎◎男
	文化講演会参加希望

【参考】



お問い合わせ



日本三休虚空蔵の一
村松山 虚空蔵堂

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松 8
TEL029-282-2022 FAX029-282-1816
http://www.taraku.or.jp